

2つの零点定理と n 次元中間値の定理

01106246 九州大学 *川崎英文 KAWASAKI Hidefumi

1. はじめに

本発表では2つの零点定理, Poincaré-Mirandaの定理 [6, 5] と Hadamard の定理 [1] を考察する.

定理 1 (Poincaré-Miranda の定理) 区間 $I = [-1, 1]^n$ から \mathbb{R}^n への連続写像 $g = (g_1, \dots, g_n)$ が次の境界条件を満たすならば, g は零点をもつ.

$$\begin{aligned} g_i(x) &\leq 0 \text{ on } \{x \in I \mid x_i = -1\}, \\ g_i(x) &\geq 0 \text{ on } \{x \in I \mid x_i = 1\} \end{aligned} \quad (1)$$

定理 2 (Hadamard の定理) 中心が原点の単位球 $B \subset \mathbb{R}^n$ から \mathbb{R}^n への連続写像 g が境界条件

$$x^T g(x) \geq 0 \quad (\forall x \in \partial B) \quad (2)$$

を満たすならば, g は零点をもつ.

筆者は Poincaré-Miranda の定理を用いて n 次元中間値の定理を与え, ゲーム理論への応用を図った [2]. また, Hadamard の零点定理を集合値写像に拡張し, 凸解析に応用した [3]. 本発表では Hadamard の定理を [3] とは違う方法で拡張し, 2つの零点定理をまとめて記述できることを示す. さらに, Hadamard の定理の拡張を用いて n 次元中間値の定理を考察する.

2. Hadamard の定理

Hadamard の定理において単位球を内部が非空な有界閉凸集合 $C \subset \mathbb{R}^n$ に容易に拡張できる.

定理 3 ([3]) a を C の内点として, 連続写像 $g: C \rightarrow \mathbb{R}^n$ が境界条件

$$(x - a)^T g(x) \geq 0 \quad (\forall x \in \partial C) \quad (3)$$

を満たすならば, g は零点をもつ.

境界条件 (3) は内点 a に依存するため, それを次のように修正する.

$$n^T g(x) \geq 0 \quad (\forall n \in N_C(x), \forall x \in \partial C). \quad (4)$$

ここで, $N_C(x)$ は $x \in C$ における C の法錐 $N_C(x) = \{n \in \mathbb{R}^n \mid n^T(y - x) \leq 0 \quad (\forall y \in C)\}$ である.

$I = [-1, 1]^n$ の境界における法錐は凸包

$$N_I(x) = \text{conv}\{\text{sign}(x_i)e_i \mid |x_i| = 1\}$$

なので, (4) は (1) になる.

また, 単位球 B の境界における法錐は

$$N_B(x) = \{\lambda x \mid \lambda \geq 0\}$$

なので, (4) は (2) になる. このように, 境界条件 (4) を用いて2つの零点定理を記述できる.

定理 4 $C \subset \mathbb{R}^n$ を内部が非空な有界閉凸集合とする. 連続写像 $g: C \rightarrow \mathbb{R}^n$ が境界条件 (4) を満たすならば, g は零点をもつ. さらに, (4) を狭義の不等式で満たすならば, 零点は C の内点である.

3. n 次元中間値の定理

零点定理から中間値の定理を導くには, $\gamma \in \mathbb{R}^n$ に対し $g(x) = \gamma - f(x)$ あるいは $g(x) = f(x) - \gamma$ をとり, 境界条件を翻訳すればよい.

[2] では, Poincaré-Miranda の定理を用いて次の n 次元中間値の定理を与えた. $I := [a_1, b_1] \times \dots \times [a_n, b_n]$ として, $f: I \rightarrow \mathbb{R}^n$ を連続写像とする.

定理 5 ([2]) $i = 1, \dots, n$ に対して

$$\begin{aligned} \bar{\alpha}_i &:= \max\{f_i(x) \mid x \in I, x_i = a_i\}, \\ \bar{\beta}_i &:= \max\{f_i(x) \mid x \in I, x_i = b_i\}, \\ \underline{\alpha}_i &:= \min\{f_i(x) \mid x \in I, x_i = a_i\}, \\ \underline{\beta}_i &:= \min\{f_i(x) \mid x \in I, x_i = b_i\}. \end{aligned}$$

とおく. このとき, $\gamma = (\gamma_1, \dots, \gamma_n) \in \mathbb{R}^n$ が

$$\min\{\bar{\alpha}_i, \bar{\beta}_i\} \leq \gamma_i \leq \max\{\underline{\alpha}_i, \underline{\beta}_i\} \quad (\forall i) \quad (5)$$

を満たすならば, $f(c) = \gamma$ なる $c \in I$ が存在する.

では, 定理 4 を用いると, どのような中間値の定理が得られるだろうか. $g(x) = f(x) - \gamma$ をとると, 点 $x \in \partial C$ における境界条件 (4) は

$$n^T(\gamma - f(x)) \leq 0 \quad (\forall n \in N_C(x)) \quad (6)$$

であり, これは $\gamma - f(x)$ が $N_C(x)$ の極錐 $N_C^\circ(x) = \{z \in \mathbb{R}^n \mid n^T z \leq 0 \ (\forall n \in N_C(x))\}$ の元であることを意味する. 法錐の極錐は接錐 $T_C(x) = \text{cl cone}(C - x)$ なので, 次の定理が得られる.

定理 6 f を内部が非空な有界閉凸集合 $C \subset \mathbb{R}^n$ から \mathbb{R}^n への連続写像とすると, $\gamma \in \mathbb{R}^n$ が

$$\gamma - f(x) \in T_C(x) \quad (\forall x \in \partial C) \quad (7)$$

を満たすならば, $f(c) = \gamma$ なる $c \in C$ が存在する.

$C = B$ の場合, (6) は

$$x^T(\gamma - f(x)) \leq 0 \quad (\forall x \in \partial B) \quad (8)$$

となる. そこで, 正斉次関数 $f_0: \mathbb{R}^n \rightarrow \mathbb{R}$ を

$$f_0(x) := \begin{cases} f\left(\frac{x}{\|x\|}\right)^T x & (x \neq 0) \\ 0 & (x = 0) \end{cases} \quad (9)$$

で定義し, f_0^* をその共役関数とする.

系 1 $C = B$ の場合, $\gamma \in \mathbb{R}^n$ が $f_0^*(\gamma) \leq 0$ を満たすならば, $f(c) = \gamma$ なる $c \in B$ が存在する.

4. 「中間値」の意味

条件 (5) から, 定理 5 を中間値の定理とよぶのは自然である (図 1, 図 2). 一方, (6) や (7), (8) からは「中間値」の意味が分かりにくい. この点についても発表では触れたい.

5. 謝辞

本研究は JSPS 科研費 JP16K05278 の助成を受けている.

参考文献

- [1] J. HADAMARD, Sur quelques applications de l'indice de Kronecker, in J. Tannery, ed. Introduction a la Théorie des Fonctions d'Une Variable. Vol. 2, 2nd edn., Paris: Hermann, (1910) 437–477.
- [2] H. KAWASAKI, An n -dimensional intermediate value theorem and its application to the game theory, Linear and Nonlinear Analysis, **8**, No.1, (2022) 81–87.

[3] 川崎英文, 零点定理の凸解析とゲーム理論への応用, 数理解析研究所講究録「田村慶信, 確率的環境下での数理的意思決定とその周辺」に掲載予定.

[4] J. MAWHIN, Simple Proofs of the Harnard and Poincaré-Miranda Theorems Using the Brouwer Fixed Point Theorem, *The American Mathematical Monthly*, **126**, 3, (2019) 260–263.

[5] C. MIRANDA, Un' osservazione su un teorema di Brouwer *Boll. Unione Mat. Ital.*, **3**, (1940) 5–7.

[6] H. POINCARÉ, Sur certaines solutions particulières du problème des trois corps. *Comptes Rendus Acad. Sci. Paris*, **97**, (1883) 251–252.

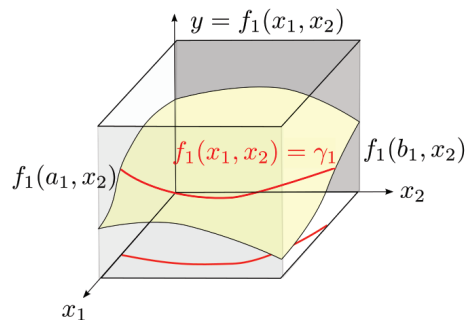


図 1: 等高線 $\{x \mid f_1(x) = \gamma_1\}$.

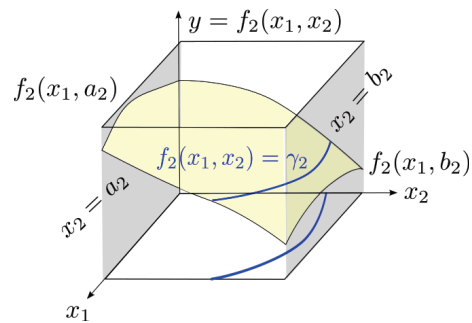


図 2: 等高線 $\{x \mid f_2(x) = \gamma_2\}$.